

第2回 事務局会議事録

日 時：2006年7月11日 16:00～18:30

場 所：東京大学工学部14号館802号室

出席者：村山会長、長坂財務担当理事、河端広報担当理事、落合会報担当理事、
小口渉外委員長、大沢大会実行委員長、太田 GIS 技術資格認定局副局長、
福井事務局長

【議 題】

日本地球惑星科学連合依頼のアンケート回答について

研究発表大会について

賛助会員への特典

平成20年度以降の大会会場について

国際シンポジウムについて

GIS 技術資格認定局状況報告

学会連携について

教育主催者認定について

GIS 専門技術者認定について

研究発表会におけるパネルディスカッションについて

HPについて

パンフレット作成について

惑星連合の委員会への出席のための旅費について

会計に関して

会費未納会員対策について

学会賞に関して

ニューズレター59号について

科学技術制作研究所の調査における回答候補者推薦について

次回事務局会日程

【 日本地球惑星科学連合依頼のアンケート回答について】

来年度以降の連合大会に、GIS 学会としてのセッション開催を希望するか、否か。

レギュラーセッション(少なくとも5年間は継続開催)にセッション名「GIS」として参加を希望することとする。

但し、連合側が「今年度初開催のGISセッションが継続開催することは難しい」との見解であれば、まずはスペシャルセッションとしての開催を継続するようにし、定着が見極められた後、レギュラーセッション化を希望する。

「現在、学会は年1回の秋の研究発表大会しかない。春(5月)開催の連合大会でのセッションを、成果発表の場として位置づけたらどうか」

「参加費が高額なので、将来的には補助を考えなければならないかも知れない」

プログラム委員(2名)選出依頼について

小口渉外委員長(東京大学)、両角政彦(日本大学)

【 研究発表大会について】

賛助会員への特典

今年度は大会で機器展示以外にソフトの宣伝や講習会も可能である旨、賛助会員の担当者にメールでご案内する。

「賛助会員の特典については、継続的に審議する必要がある」

「情報系企業に入会を勧める」

「宣伝広告費に賛助とそうでない企業に差をつけるとか」

「理事全員にアイデアを募る必要がある」

次回事務局会で特典内容審議

平成20年度以降の大会会場について

平成21年度は、新潟大学に開催を依頼することにする。

「北陸地方事務局長の牧野理事より、開催を希望する旨、ご連絡があった」

「新潟大学は大学としてもGISに力を入れており、適任。是非お願いしたい」

平成20年度は東京大学で、という話が出たことがあったので、柴崎副会長出席時に改めて話し合うこととした。

国際シンポジウムについて

「基調講演はMyung-Hee Jo先生(韓国)、Hui Lin先生(中国)、岡部先生(日本)に依頼、了承済み」

「韓国側は10人を超える発表者の派遣を見込んでいる。日韓の研究者が交互に発表し、活発な議論を展開して貰うためにも、日本側の英語での発表者の募集に力を入れなければならない」

「論文応募状況を睨みながら、ピンポイントで英語発表の依頼をする必要が生じるかも知れない」

「従来、午後半日であった当セッションだが、発表者が必然的に多くなるので、丸一日必要となる。午前から発表を始め、午後一番に基調講演、その後また発表となる」

「会場の数が足りなくなる」 会場校・日本大学に部屋の確保を再度依頼してみる

【 GIS 技術資格認定局状況報告】

学会連携について

「日本写真測量学会（要請書送付済）、日本リモートセンシング学会、日本地理学会（共に内諾済）、日本国際地図学会、人文地理学会（共に内諾要請中）をコアメンバーとして、協力を取り付けている」

「組織自体は収拾不可能になるのを防ぐため、学会に限定するのが良いと思う」

教育主催者認定について

「作業の遅延によって迷惑をかけたものもあるが、一行事について 5 年間の認定としているので、さかのぼって認定することもできる」

GIS 専門技術者認定について

「未だ申込者は出ていない。宣伝不足の面もある。目下、認定者数を増やすことが目標でもあるので、申請料 25,000 円のところを、一年間に限り 15,000 円としている」

研究発表会におけるパネルディスカッションについて

「9 月には準備会を行うが、GIS 専門技術者の認定と地位の確立を主題に、前述の連会 5 学会の代表で 1 時間半程度を計画している」

会場確保の必要があり、これも会場校・日本大学に依頼してみる

HP について

「現行 HP を削除し、7 月中に新しい HP の開設をしたい」

前者について広報担当理事承諾

「レンタルサーバと契約し、そこでメールアドレスと、ドメインを同時に取得したらどうか」

「NII にあること自体がステイタスでもある」

「学会が新たに“ gisa ”ドメインを取得の意向なら、技術資格局もメールのドメインを同一にしたい。そのほうが信頼性もある」

河端担当理事が継続して広報委員会と調整

パンフレット作成について

「8 月下旬に完成予定。次のニューズレター発送時に封入して欲しい」 事務局承諾

【 惑星連合の委員会への出席のための旅費について】

「現在、担当者の中に地方在住者がおられる。個人負担は重い」

「学会内の委員会・会議はともかく、対外的に重要なものについては補助すべきである」
「会計ルールに従って処理するのでは問題が生じるか」
「会計規則の追加条項として“ 対外活動に学会から派遣する場合、予算の範囲で支払うことがある ” とすれば良いのではないか」 以下、次項目とも関連

【 会計に関して】 形式を整え次第、別途 IT 理事会にかける

「旅費規程については、付則にし、別途設ける、という方法もある」
「原則として、移動はファースト、ビジネス、グリーンを禁止する」
「支出項目に GIS 技術資格認定局も入れて欲しい」
「支払いの費目の詳細が欲しい」

【 会費未納会員対策について】

リストを理事に公開し、心当たりのある方には声をかけていただく。
「3年以上の滞納は除籍の規定がある。未収入金として計上する必要があるが出てしまうので、規定に従うべき」
「少しでも除籍者を減らしたい」
「除籍者は公表する学会もある。不名誉なことなので、ニュースレターに掲載するようになれば、抑止力が働き、退会の際にきちんと手続きを踏むようになるのでは」

【 学会賞に関して】

「応募者が2部門2名と少ない。他薦でも良いので、お声かけを再度お願いしたい」

【ニュースレター59号について】

「印刷所を変更するので、気持ち早めに作業をお願いしたい」
「大会プログラム以外の原稿の締め切りを、8月18日として、動くこととする」

【 科学技術制作研究所の調査における回答候補者推薦について】

「学会で選んだ候補者に、提出前に、情報を公開することの許可を得ること」
文科省の補足資料には「決定いたしました回答者には、あらためて、こちらからの調査協力のご依頼を致します。その際には、本人に推薦いただいた個別団体名の開示はいたしません」と明記されており、後日、総務担当今井理事は、予め連絡は不要と事務局に指示。事務局は、事務局会内で指摘されたメールアドレスの確認、変更を行い、文科省に提出予定。

【 次回事務局会日程】

9月5日(火) 16:00~ 於：学会センタービル地下1階会議室
予定される議案：研究発表大会、理事会議案など